

産業能率大学

田中彰夫ゼミ

高橋チーム

「子どもを思いやる街・世田谷」

参加メンバー（敬称略）	
チームリーダー：高橋 文哉（3年）	
井上 航（3年）	盧 承虎（3年）
阿部 遙華（3年）	本田 将隆（3年）
小原 美紗（3年）	野上 純奈（3年）
指導教員：田中 彰夫（経営学部現代ビジネス学科 准教授）	

子どもを思いやる街,世田谷

産業能率大学 経営学部 田中彰夫ゼミ
Bグループ

私たちの提案は、大学生が中心になり行政と協力することで“子どもたちが自由に遊べる空間を提供する”ことである。まず私たちは、子どもたち向けを中心にイベントを開催している「世田谷プレーパーク」に取材に行き、子どもたちの遊びの現状について調査した。その結果、現在の子供たちは、“自由に遊べる空間や機会が少ない”、“世田谷には子育てに興味がある人が多い”という現状を知ることができた。次に、世田谷区における待機児童問題について調べた。

こうしたことを背景に、私たちは、大学生が中心になり、子供たちが楽しめる空間・時間をつくることで、子供たちが活発になり世田谷区がより盛り上がるようにしたいと考えた。その際に、子どもが“やってみたい”と考えていることを実現してあげれば子どもたちは楽しめると考え、私たち大学生が中心になり“子どもの叶えたい夢の実現”を目指したイベントの開催を提案することになった。

重要なことは、こうした活動を一回限りのイベントで終わらせてはいけないことだ。イベントに参加した子供たちが大学生になった時に、自分がしてもらったようなイベントを自分でも開催したいと思ってくれることが大切である。また仕事や結婚などの都合により世田谷区からいったんは離れても、自分の育った街である世田谷区に戻った際には、このプロジェクトに関与したいと思えるようなプロジェクトでありたい。さらに、高齢者になっても孫と一緒に参加したいと思えるようなプロジェクトであれば、幅広い年代層がこのプロジェクトに関わるようになる。そうすることで、世田谷区が一体となるプロジェクトができあがると考えた。私たちは、世田谷区の今後のありようを人生のサイクルとマッチさせ、サイクルの繰り返しにより世田谷の街を盛り上げたいと考えている。このサイクルを永続的に継続することで、世田谷区が常に活性化している状態でありつづけられると考える。

子供を思いやる街・世田谷

産業能率大学 田中彰夫ゼミ Bグループ
 高橋文哉 阿部遥華 井上航 小原美紗
 野上純奈 本田将隆 盧承虎

1

目次

- * 1. 現状分析
- * 2. 調査内容・結果
- * 3. 仮説
- * 4. 提案
- * 5. 目指す街の姿、効果
- * 6. まとめ

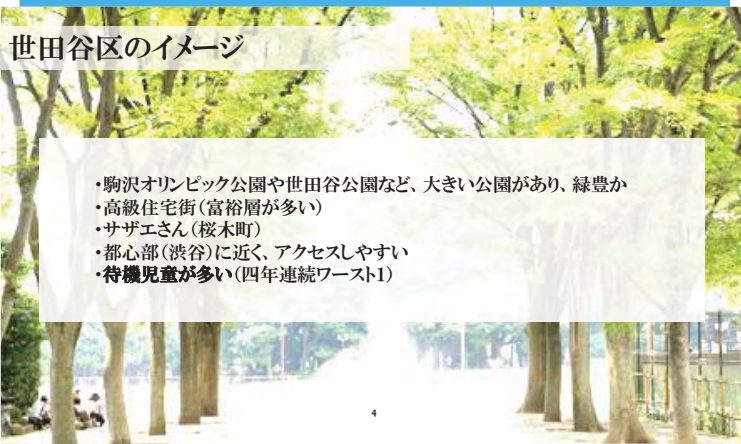
2

1. 現状分析

3

◆世田谷区の現状

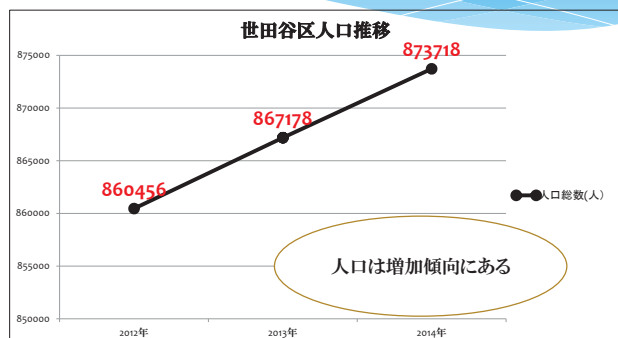
世田谷区のイメージ



- ・駒沢オリンピック公園や世田谷公園など、大きい公園があり、緑豊か
- ・高級住宅街(富裕層が多い)
- ・サザエさん(桜木町)
- ・都心部(渋谷)に近く、アクセスしやすい
- ・特機児童が多い(四年連続ワースト1)

4

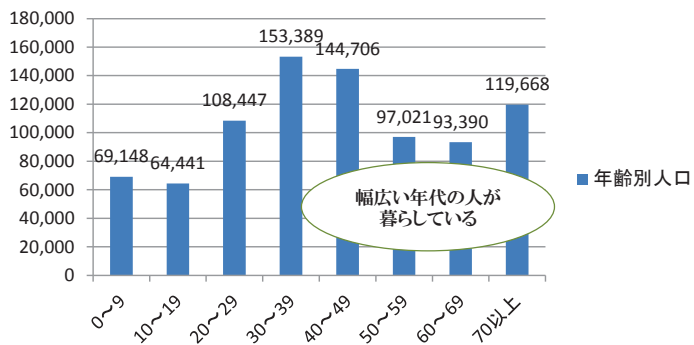
◆世田谷区の現状



5

◆世田谷区の現状

年齢別人口



◆世田谷区の現状

待機児童数が多い区市町村は世田谷区(1,109人)、大田区(613人)、板橋区(515人)で、世田谷区が一番多い。トップの世田谷区は、就学前児童人口が都内でもっとも多いと思われるが…

7

◆世田谷区の現状

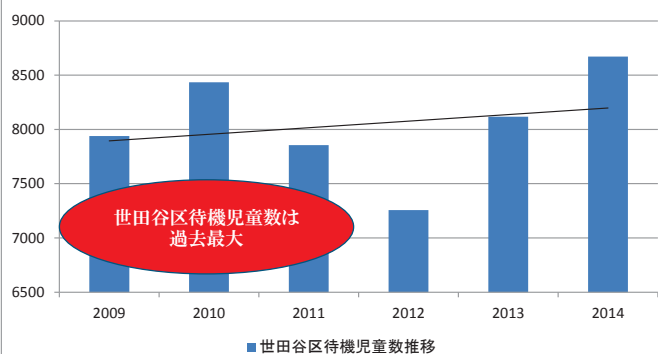
世田谷区は「保育の質」の確保にこだわりをもっているため、認可保育園は社会福祉法人が中心である。そのため量的拡大を図ることができないので待機児童という問題が発生している。

認可保育園を造る際、社会福祉法人や学校法人は手厚い支援が受けられるのに対し株式会社は支援を受けることができない、また株式会社の場合は倒産のリスクも抱えているので株式会社の参入はリスクが高いと世田谷区は考えている。

8

◆世田谷区の現状

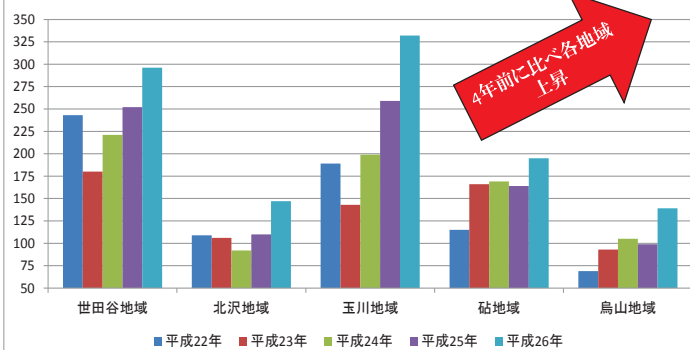
世田谷区待機児童数推移



9

◆世田谷区の現状

地域別待機児童数推移



10

◆世田谷区の現状



世田谷区は待機児童が多い

11

2. 調査内容・結果

12

調査内容・結果

子供向けのイベントを行っている「世田谷プレーパーク」という施設で働く人たちにインタビューを行った。

世田谷プレーパークとは？
子供が生き生きと遊ぶことのできる環境として「羽根木」「世田谷」「駒沢はらっぱ」「烏山」の四か所で、NPO法人の有給職員と各地域住民によって運営されている施設の一つ。



13

インタビュー内容

Q1. どのようにして「世田谷プレーパーク」は誕生したのか

A1. 40年ほど前、外で子供が遊べる場所が充分にないということがこの施設を生み出すきっかけとなった

Q2. どのような人達が施設の運営に関わっているのか

A2. ボランティアとして集められた地域住民、世田谷区から依頼を受けた17人ほどのNPO団体のメンバー、行政など様々な人達に関わっている

14

Q3. 子供たちにどんなことをさせたいか、学ばせたいか

A3. 様々な活動を通じて外で遊ぶことの大切さを伝えていきたい。とにかく実現できる範囲で子供たちのやりたいことを実現させてあげたい。子供を中心に置きたい。

Q4. 施設を管理する上で気を付けていることは何か

A4. 基本的には子供たちの自由にしているが、安全面には十分配慮している。また、施設内の遊具の管理に気を付けている。

15

Q5. プレーパークの活動を支えている人は誰か

A5. 現在子育てをしている人、また子育てをしたいと思っている人、過去にプレーパークで遊び、育った人、地域の大学生など。毎日来てくれる人もいる。

16

調査結果まとめ

- ・子供たちに学びではなく、育ちを大切にしている
- ・子供が主となる遊びをしている
- ・チャレンジできる場所
- ・思いや考えがあっても区別をつけない
枠を設けない
- ・ここで遊んでいた人がボランティアや子供を連れて参加してくれている。

17

今後の方針

子供たちに何をやりたいか、何をやって楽しいかを聞く

↑

私たち大学生がサポート

↑

さらに住民や行政にサポートを頼む

良いサイクルが生まれる関係を作る！

18

これらの現状分析・調査結果から
世田谷区は待機児童が多くこの問題を
解決するべきだと感じた。

19

3. 仮説

20

仮説

周囲の人と関わるのが少なく、交流する機会がない
さらに、子供が自由に遊べる空間が少ないため、
子供達は思いっきり遊べていない



子供達はもっとおもいっきり遊びたいと思っているのではないか
また、親御さんも室内遊びをするよりは、外で元気に遊んでもらいたと考
えているのではないか



そこで私たち大学生が中心になり、子供たちが楽しめる空間・時間をつく
ることで、子供たちが活発になり世田谷区がより盛り上がるのではないかと考
える

21

4. 提案

22

提案

「見守る」

大人(地域)

子供が主体

「やってみよう」

大学生

「実現」

行政

「協力」

23

提案

「やりたいこと」実現してもらった子供が将来大学生
になった時にその時代の子供たちに大学生が中
心になり イベントを実施することをコンセプトにする。

このようなプロジェクトが大学生だけではなく大人
になっても受け継がれていくようにしたい。

24

提案

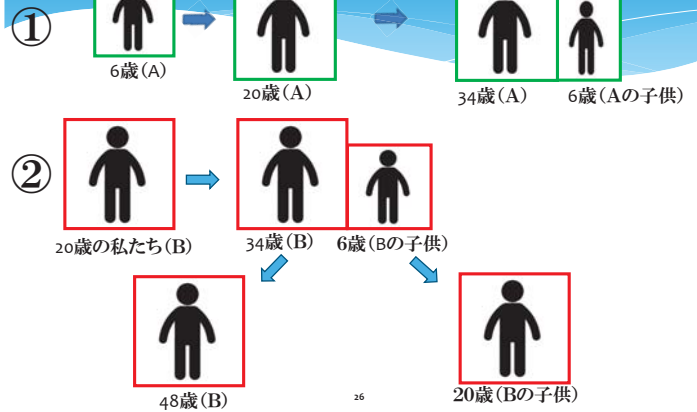
仕事や結婚などの都合により世田谷区から離れても、将来自分の育った街である世田谷区に戻りこのプロジェクトに関与したいと思えるようなプロジェクトにする。

高齢者になっても孫と一緒に参加したいと思えるようなプロジェクトにする。

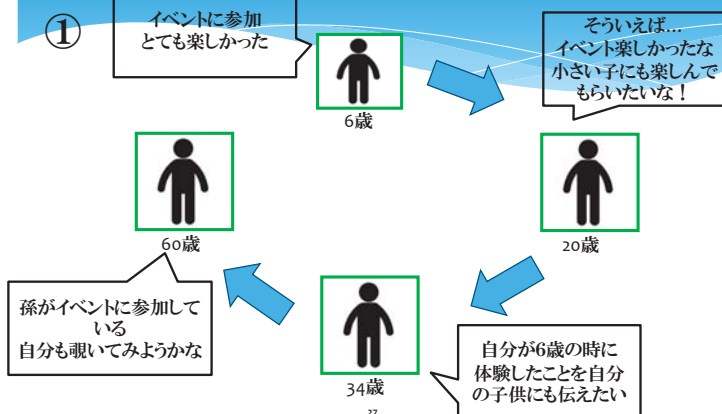
私たちは、人生サイクルと世田谷サイクルをマッチさせ、サイクルの繰り返しにより世田谷の街が盛り上げると考える。

25

人生サイクルと世田谷サイクル

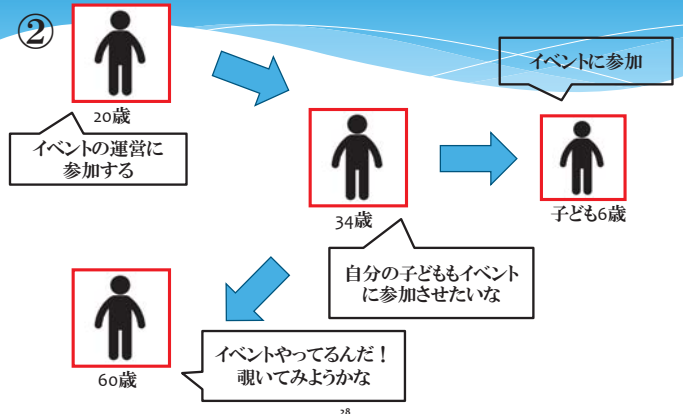


6歳のサイクル



27

私たち(20歳)のサイクル



28

①深沢幼稚園



29

①深沢幼稚園

深沢幼稚園は幼児期に豊かで安定した環境の中で「生きる力」を身につけるため、家庭、保育者、子どもが信頼の絆で結ばれながら保育を行っている。

30

①深沢幼稚園

▽園の教育方針、保育の特徴

幼児期に豊かで安定した環境の中で“生きる力”を育つ。

集団の中でのルールや決まりを、自由遊びの時間、好きな遊びや自由な行動の中から自然に学び。特に広い園庭では心と体を開放できる泥んこ遊びを子どもたちは楽しんだり、友達と伸びやかに遊びを広げている。

31

①深沢幼稚園

朝の会では当番活動をはじめ、生活指導や季節の歌や時の話題を取り上げ社会性を身につける。

リズム運動は、音楽と運動を組み合わせた保育で、素足で体を使った表現や反応は脳を刺激し、集中力と想像力と体力を身につける。

中心活動は、特に音楽、絵画製作、運動体育に力を入れ、より専門的な指導が行われる。

四季を通して、伝統的、文化的な行事を行い、心豊かな経験できる。

32

②めぐみ保育園



33

②めぐみ保育園

▽園の教育方針、保育の特徴

愛隣会創設の理念にもとづき、隣人愛をもって園児が明るく健やかに育つように、自分で考えて判断する子ども思いやりのある子ども心身共に健康な子どもをめざして保育に携わる。

園舎の前は深沢公園で広い空間を使い、いろいろな遊びを楽しむ。体力づくりの為に専門の体育教師を招いて各年齢ごとのプログラムを組み、保育を行っている。

34

③KIDS GARDEN JIYUGAOKA



35

③KIDS GARDEN JIYUGAOKA

▽園の教育方針、保育の特徴

KIDS GARDENは、月極め保育、一時保育、幼稚園に入る前のプレスクール、お受験対策としてなど、それぞれの家庭のニーズに合わせた利用が可能な認可外保育室。

36

③KIDS GARDEN JIYUGAOKA

身体能力・教養・創造性三つのバランス良く身に付けることができる点。朝夕には、絵画工作・体操・クッキング・英語・リミックなどを習い、お昼前にはお散歩に出て自然と思いきり触れ合う。お昼後の歯磨く。ランチやおやつはすべて、栄養士さんによる手作りのもの。

37

③KIDS GARDEN JIYUGAOKA

「ALSOK」との契約・オートロック・WEBカメラ設置で安全対策、スタッフも経験豊富な保育士さん・元気な若手・お受験対策の先生とバランス良い配置で、我が子をはじめて預ける場として安心の場だ。

38

提案

子供たちが叶えたいことに関しては大学の近辺にある幼稚園・保育園・学童の子供たちにアンケートを取り決定する。

実現が不可能なもの

実現が可能なもの

39

提案

イベントに参加するのは子どもだけに関わらず、親御さんや地域の方々にも参加してもらい世田谷区全体でプロジェクトを進めていく。
大学生は、プロジェクトの企画、運営を行い、行政には場所の確保や資金援助をしてもらう。

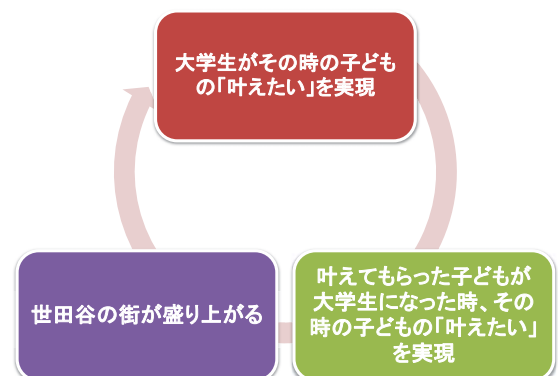
しかし主役は子どもたち

40

5. 目指す街の姿

41

目指す街の姿



42

この企画による効果

世田谷は私たちが「叶えたい」ことを実現してくれる街！満足！！



子どもが喜んでくれる街、世田谷！
これからの子どもにも嬉しい場所！満足！

子どもが満足

親も安心・満足

将来、世田谷に戻ってきたくなる

世田谷の街が盛り上がる

45

まとめ

私たちの提案を実際に行い、活性化を図っていけば、このような活動が他の地域でも行われるようになり、世田谷区だけに関わらず、他の区や県も活性化を図ることができる。

こうしたプロジェクトを通して、子どもたちが成長できる場を提供できれば、待機児童の問題の解決に一步近づくのではないかと私たちは考える。

44

まとめ

待機児童問題は、世田谷区全体で解決すべき問題であり、このプロジェクトは区全体が協力し合うことによって成功をおさめることができる。

そのため、世田谷区内の大学・行政の協力が必要不可欠である。

45